

## 旅行記

## 城めぐり (3)

## 佐々木 進

(昭和40年採鉱科卒)



今回は九州の13名城を巡る旅に出かける計画をたて、某旅行会社の団体旅行に参加しました。2018年9月16日からの4日間でした。

第1日目は、「福岡城跡」「大野城跡」「吉野ヶ里歴史公園」「佐賀城」の4箇所です。

福岡城は黒田長政が築城した名城で、本丸御殿跡からは西方に大濠公園、北方に平和台陸上競技場が遠望され福岡の大会を眺望することができる。城内では下ノ橋御門・伝潮見櫓・祈念櫓などがあり特に目を引かれました。下ノ橋御門と伝潮見櫓は隣接して建てられており、伝潮見櫓は二重二階入母屋造りで美しい建物である。



下ノ橋御門と伝潮見櫓

大野城は天智天皇4(665)年に築城された朝鮮式山城の一つで、国の特別史跡に指定されており、7世紀の激動する東アジア情勢の中、唐・新羅連合軍に白村江で大敗を喫した日本は北部九州を中心とした防衛体制を固めるため、築造されたものである。大野城跡には尾根に沿って版築土塁が築かれており、総延長は約8kmに及ぶ広大なものであり、そのごく一部を歩いたのですが、そこそこに礎石群が存在し、谷部は石垣だらけで、その内百間石垣は長さが百間(約180m)あり、改めて巨大さを感じました。

吉野ヶ里歴史公園は皆さんよくご存じと思いますが、この遺跡は

弥生時代の約700年にわたるすべての時代の遺構・遺物が発見された場所です。今回は天の浮橋を渡り、南内郭から北内郭に行ってきました。南には物見やぐらが王たちの居住空間があり、彼岸花と物見やぐらのツウショットをごらんください。北やぐらでは二階の内部で丁度巫女さんの祈祷が始まったところでした。意味が解らなかったので、勝手に道中の安全を祈願しました。



吉野ヶ里歴史公園

佐賀城は、JR佐賀駅南口から徒歩25分で着きます。平成16年に復元された木造瓦葺平屋建(一部二階建)の建物で、復元時代は鍋島直正(10代藩主)が本丸御殿を再建した「天保期」(1838年完成)です。色調は原色を多用していますが、それほどきらびやかではなく落ち着いた感じでした。2日目は、「名護屋城跡」「平戸城」です。名護屋城は秀吉が朝鮮出兵の拠点として築城したものであって全国の諸大名に参陣を要請しました。各藩の位置取りは秀吉子飼いの武将が周りを囲み、外様は外回りという徹底ぶりです。参陣では北の弘前藩、南部藩の武士が40数名ずつ、1か月余をかけて歩いていくのですから、大変だったでしょうね。

平戸城は、長崎県平戸市岩の上町にあります。田平から平戸大橋を渡って2km程です。西には平戸ザビエル記念教会があり、北と東は平戸港に面している。城は平戸藩主松浦30代雄香棟により宝永元年(1704年)の築城によるもので、山鹿流の縄張りによる日本唯一の平山城である。



平戸城

余談ですがパンフレットにある一文を紹介します。34代藩主松浦清の第11女愛子は、京都の中山大納言家に嫁いだ。その姫慶子が明治天皇の御生母となる。また、明治天皇の幼年期は中山家で養育された。この産着は、孝明天皇が皇子祐宮(明治天皇)に贈ったもので、中山家から誕生の知らせとともに平戸松浦家に贈られてきた。長崎での宿泊先は「長崎ワシントンホテル」であったため、新地中華街に近接しており、多くの客が並んでいた。「江山楼本館」で中華料理に舌鼓を打つことができました。この中華街は日本の神戸・横浜にある中華街の発祥の地でここには会楽園・京華園・翠御庭・蘭華・桃華園・西湖等の店が軒を連ねている。

3日目は、「島原城」「熊本城公園」「人吉城跡」「鹿児島城跡」です。

島原城はその景観の素晴らしさに初めて見て圧倒されました。この地は森岳といい、有馬晴信が本陣を構えて佐賀・龍造寺隆信軍を撃破したことで知られています。この瑞祥の地に五条(奈良県)から入封した松倉重政が7年の歳月をかけて築城したそうです。



島原城

層塔風総塗込の五層の天守閣は見ごたえ十分です。1964年(昭和39年)に天守閣が復元されています。

島原は、「島原の乱」「島原大変」「雲仙・普賢岳噴火災害」と動乱・自然災害に見舞われていますが、それらに堪えて今があります。でも、島原城7万石武將隊の若いメンバーにお会いすると、立ち上がる原動力が感じられました。

熊本城はご存じの通り現在再建中ですが、外回りは散策することができます。城の北西にある戌亥櫓は見学したときは補強をしていましたが、今にも倒壊しそうに見えていました。最近のニュースではいよいよ修復工事が始ま



熊本城戌亥櫓

## 地盤調査・土質試験・土地家屋調査 土木設計・一般測量・さく井調査



株式会社 ジーオ  
Geo Co, Ltd

代表取締役 佐々木 秀人

取締役 佐々木 進(昭和40年採鉱科卒)

本社 東京都調布市東つつじヶ丘3-41-31  
〒182-0005  
TEL 03(3308)7591  
FAX 03(3308)7597  
E-mail : geo@msj.biglobe.ne.jp